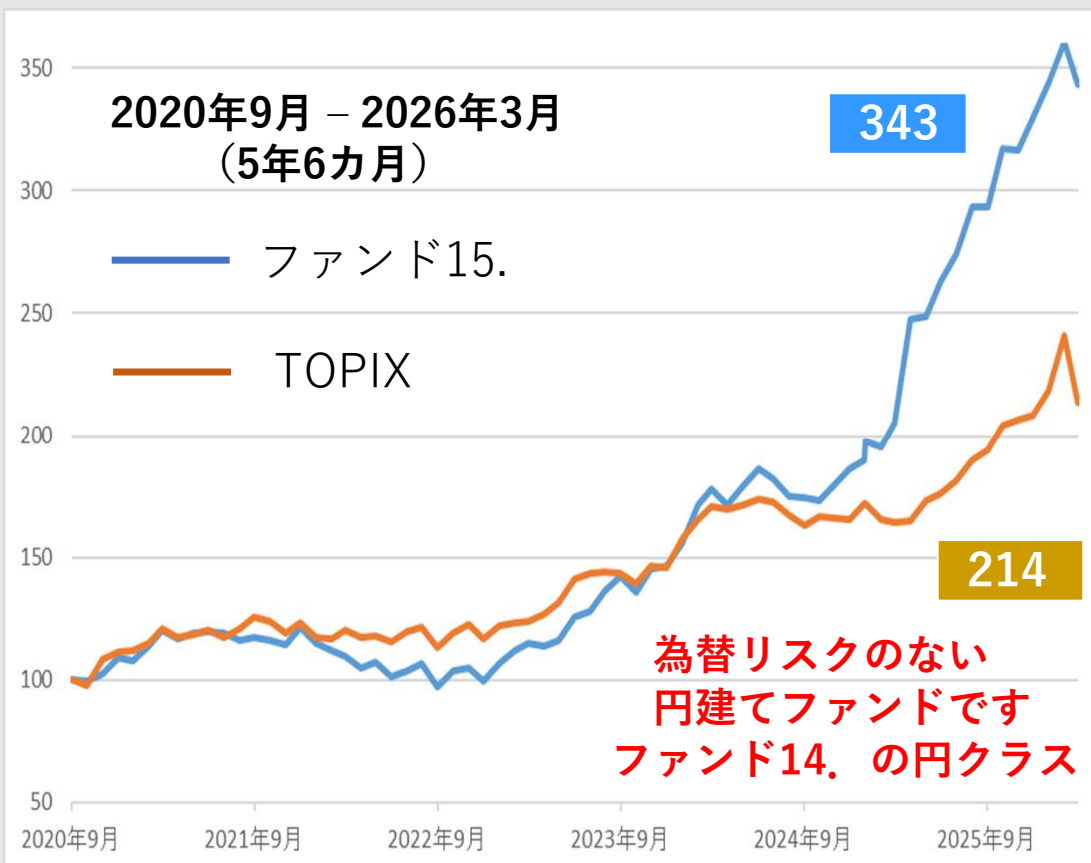


指数では物足りない、指数を追わない
日本株の“評価の歪み”に投資する「ファンド15.」



・本資料のリターンは参考情報であり、実際の投資家の成果とは異なる場合があります。正式な成績は管理会社の報告書をご覧ください。・過去の実績は将来の成果を保障するものではありません。・本資料は情報提供を目的とし、投資の勧誘を意図するものではありません。・投資判断にあたっては、正式なインフォメーション・メモランダムをご確認の上、専門家に相談し、ご自身の責任でご判断ください。

平均年利回り	25.1%
平均年リスク	16.4%

左記のデータとグラフは、ファンド15.の参考値としての、異なるファンドのもので

- ◎ まだ「上がっていない日本」がある。
 - * PER 6～8倍 (TOPIX 16~22)
 - * PBR 0.6倍 (TOPIX 1.4~1.5)

当ファンドが注目する企業は、企業の価値や資産内容に比べて、市場での評価が相対的に低位にある企業群です。経営陣と建設的に対話をし、企業価値の改善を提案します。そこに中長期の投資機会があると考えます。

企業が変われば、株価は変わる。
相場待ちではない、企業変化待ちでもない。
変化を“起こしにいく”ファンドです。

- ◎ 日本を知り尽くした運用体制
 - * CIOは1990年より、日本株35年以上
 - * AI x ファンダメンタル融合
 - * 自らの資金も投じる、本気の運用

- ◎ ショートは守りではない。

2026年4月30日時点